

労働組合ノ目的ガ労働階級福利ト福利ヲ増進スルニアルコトハ首
フマデモナイ、然シ労働組合ガ團体生活ノ模範テアリ立憲政治ノ
象徴ナルコトセ見逃シテヘナラヌ事實デアル。若シ我國ニ於ケ
ル労働階級ガ全部労働組合ノ下ニ結合スルニ至レバ我國ノ立憲政
治ガ理想的ニ運用サレ得ルコトハ毫モ疑フベキヂナイ、元來労働
組合ハ組合員ノ意圖ニヨリテ經營サレルノデアルカラ共産主義ヤ
ファシズムノ獨裁主義ト兩立スペキセノデナイコトハ明カデアル
今ヤ我國ノ思想界ハ左右兩翼ノ獨裁主義ニヨリテ幾分ノ動搖ヲ見
ントシテ居ル。此際ニ就テ日本労働總同盟ノ年次大會が開催サレ
タコトハ眞ニ有意義ナコトデアルト云ハナケレバナラヌ。私ハ衷
心カラ此大會ヲ祝スルト共ニ諸君ガ労働運動終極ノ目的ニ向ツテ
一路躍進サレンコトヲ望ム。

昭和七年十一月三日 安倍 勝 雄

日本労働總同盟 御中

11

渡歐途上ヨリ遙方ニ本日ノ大會ヲ祝シ一言メツセージヲ送リタイ
ト存ジマス。

鈴木文治

財團法人協調會大阪支所

御承知ノ如ク今ヤ全世界ノ舉ダテ動搖變轉ヲ送ダフ、アリマスガ
ラケテモ我國ヘ、一ハ經濟界ノ不況生活ノ窮乏ヨリ、一ハ複雜ナ
ル滿洲問題、國際關係ヨリ國民精神社會思潮ノ上ニ實當ナル變化
影響ヲ與ヘツツアルヤウニ看取セラレマス從ツテ我國ノ労働運動
モ亦十分ニ此變轉推移ニ注目シテ適正ナル方針ヲ決定シテ進進コ
トガ最モ賢明ナル方法デアルト考ヘラレマス。一言ユレタ之ヲ廠
ヘバ思想運動的、革命運動的ナル方面ヲ清算シテ現實主義ノ精神
ニ立チ跡ルコトデアリマス又後フニ政治運動力ブレフセズシテ飽
迄モ經濟運動タル本質ヲ發揮スルコトデアリマス。コレ實ニ一
時代ノ要求ニ添ヒ、一ハ労働階級ノ要望ニ端ア所以ニアツテ動